

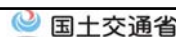
# 国営平城宮跡歴史公園 事業説明会

近畿地方整備局  
国営飛鳥歴史公園事務所  
平成25年12月15日



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## 目次



### 1. 国営公園事業の概要

- ・国営公園基本計画
- ・国営公園整備プログラム
- ・平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画

### 2. 予定工事

- ・第一次大極殿院回廊基壇
- ・第一次朝堂院広場
- ・その他

## 1. 国営公園事業の概要

---

## ・国営公園基本計画

---

## 平城宮跡の保存整備の経緯

|            |   |
|------------|---|
| 1922(T11)年 | 史跡指定  |
| 1952(S27)年 | 特別史跡指定  |
| 1959(S34)年 | 継続的な発掘調査の開始   |
| 1963(S38)年 | 国による土地の買上げ開始  |
| 1978(S53)年 | 文化庁「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」策定<br>(「遺跡博物館」と位置付け、段階的な整備を実施)     |
| 1998(H10)年 | 文化庁による朱雀門、東院庭園の復原が完成<br>ユネスコ世界遺産に登録(「古都奈良の文化財」の構成資産の一つ) |
| 2008(H20)年 | 文化庁「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画」策定                             |

## 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域の設置目的

特別史跡であり、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つであって我が国を代表する歴史・文化資産である「平城宮跡」の一層の保存・活用

平城宮跡が、国の特別史跡として指定され、世界遺産として登録された「古都奈良の文化財」の構成資産であることを尊重しつつ、

- 古代国家の歴史・文化の体感・体験のための遺跡の表現、景観形成
- 古都奈良の歴史・文化を伝える情報発信のセンターとしての活用
- 快適な空間づくりときめ細やかなサービスの提供

⇒ **国営公園の事業手法を導入** (H19.12 H20年度政府予算案にて事業化が決定)

我が国固有の優れた文化的資産である平城宮跡の保存及び活用を図るための都市公園の整備について(H20.10.28 閣議決定)

我が国固有の優れた文化的資産である平城宮跡の保存及び活用を図るため、奈良県奈良市佐紀町、法華寺町、二条大路南及び二条町の一部にわたる面積約120ヘクタールの区域を**国営飛鳥・平城宮跡歴史公園平城宮跡区域**※として(中略)整備する。

## 基本計画検討委員会等

- 事業の実施に先立ち、公園の**長期的な整備・管理**※を進めていく上で踏まえるべき**基本的な内容**を定めた**基本計画**を検討
- 基本計画の検討にあたって、学識経験者や関係機関の代表者で構成する検討委員会を設置
- また、広く国民から基本計画への意見を集めるため、パブリックコメントを実施し、基本計画に反映

※ 現在の宮跡内にある道路、鉄道、文化財の調査研究施設等が、条件が整い、全て移転、移設された時点を想定(20~30年又はそれ以上)。ただし、全ての整備が完了してから初めて開園するのではなく、段階的な整備・開園を実施していくもの。

### ■委員構成

|          |          |
|----------|----------|
| 学識経験者 9名 | 造園 2名    |
|          | 遺跡整備     |
|          | 観光       |
|          | 古代文学・民俗学 |
|          | 土木       |
|          | 日本古代史    |
| 行政委員 7名  | 都市計画     |
|          | 建築史      |

### ■検討の経緯

|                  |              |
|------------------|--------------|
| 平成20年5月27日       | 第1回検討委員会     |
| 平成20年6月20日       | 第2回検討委員会     |
| 平成20年7月30日       | 第3回検討委員会     |
| 平成20年8月18日~9月16日 | パブリックコメントの実施 |
| 平成20年9月29日       | 第4回検討委員会     |

- 基本理念、基本方針、ゾーニング等を定めた基本計画を策定・公表(平成20年12月1日)
- 基本計画の策定の後、その内容に従い、各施設(やゾーン)毎の整備順序、スケジュールを検討の上、設計(具体の整備に向けた内容の詳細化)を実施

## 基本理念・基本方針

- 文化庁が策定した「**特別史跡平城宮跡保存整備基本構想(S53)**」の基本方針及び「**特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画(H20)**」の内容を踏まえつつ、公園整備に当たっての「**基本理念**」及び「**基本方針**」を設定。

- 基本理念 (目指すべき公園の姿、あり方)

古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、  
平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間を創出する。

- 基本方針 (基本理念を満たす公園を実現するための方針) ※一部抜粋

### ① 特別史跡・世界遺産である歴史・文化資産としての適切な保存・活用

平城宮跡が、国の特別史跡として指定され、世界遺産として登録された「古都奈良の文化財」の構成資産であることを尊重し、貴重な歴史・文化資産として確実に保存し、良好な状態で後世に伝える。

### ② 古代国家の歴史・文化の体感・体験

遺跡の公開や空間スケールを活かした遺跡の表現、平城宮跡周辺の古都奈良の歴史的・文化的景観と併せ、往時に思いを馳せることのできる景観の形成を図る。また、興味をかき立てるわかりやすい解説や多彩なイベントを実施する。

### ③ 古都奈良の歴史・文化を知る拠点づくり

古都奈良の歴史・文化を伝える情報発信のセンターとなるとともに、歴史・文化等を通じた国際交流の拠点としての活用を図る。

### ④ 国営公園として利活用性の高い空間形成

快適な空間づくりときめ細やかなサービスの提供。併せて、地域住民・NPOをはじめとした多様な主体が整備・管理・運営に参画し、公園に集う人全てで作り、育む公園とする。

➤ 貴重な歴史・文化資産としての確実な保存を前提として、公園の果たすべき役割・導入すべき機能を踏まえてゾーニング

①シンボルゾーン

復元を行う建物等を中心に、歴史資産を活かした空間づくりを行い、あわせて往時を彷彿とさせるイベントや歴史学習のためのプログラムなどを実施し、往時の平城宮の様子を体感・体験するゾーン

②緑地ゾーン

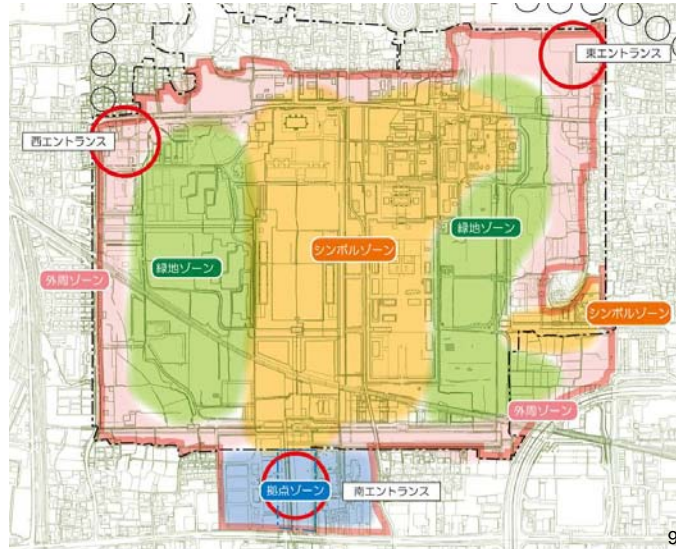
散策や草花鑑賞、自然観察など、草地や湿地等の環境を活かした多様なレクリエーション利用を行うゾーン

③外周ゾーン

平城宮跡と市街地の間に樹木を植えたり、循環園路や公園の出入り口として必要な施設を設けるゾーン

④拠点ゾーン

平城宮跡全体のガイダンスや出土品、資料の展示を行う施設、公園の利用案内サービスの提供や管理運営の拠点となる施設等を集約的に設けるゾーン。



➤ ゾーニングを踏まえ、具体の施設等を示した基本計画図を作成。



- 現在宮跡内にある道路、鉄道等が、条件が整い、全て移転、移設された場合。
- 基本計画の図であるため、個別施設の位置、規模、形状等の詳細は、今後の設計を経て変更する可能性がある。なお、主園路に関し、調査研究成果に基づき往時の道路位置が明らかになったところについては、原則としてそれを踏襲する。

## 段階整備計画図

- ▶ 長期的な整備・管理を念頭に置いた計画を定めることとしているが、平城宮跡においてはこれまでの史跡の保存整備の経緯の中で、区域内に道路や鉄道等が設置されている。
- ▶ 移転・移設が長期化することも考えられることから、整備の途中段階でも本公園が担うべき機能を可能な限り発揮できるものとするため、段階的に整備を進めることとする。



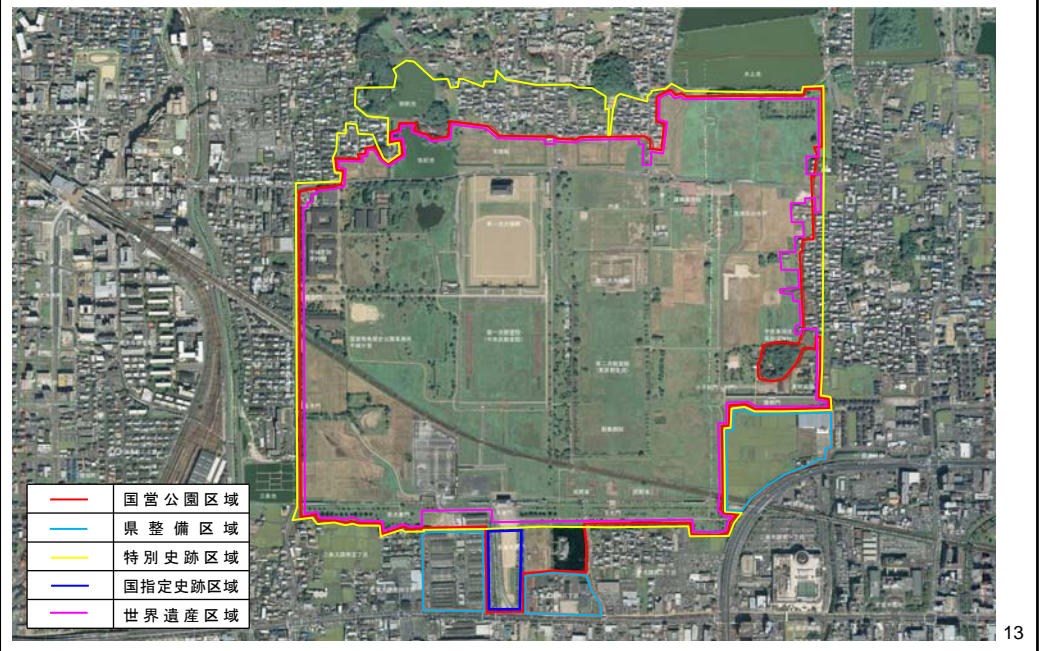
## 都市計画決定

- ▶ 基本計画の策定作業と並行し、奈良県においては都市計画決定に向けた作業が行われ、平成21年3月に平城宮跡歴史公園の都市計画決定が行われた(奈良県告示第439号)。

### ■都市計画の流れ

|                         |                                     |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 都市計画決定原案                |                                     |
| 平成20年11月2日<br>地元説明会・公聴会 | 佐保川小学校<br>都跡小学校<br>西大寺北小学校<br>中小公民館 |
| 都市計画決定案の作成              |                                     |
| 平成20年12月2日～16日          | 公示・縦覧・意見書の提出(2週間)                   |
| 平成21年2月13日              | 奈良市の意見                              |
| 平成21年2月17日              | 奈良県都市計画審議会                          |
| 平成21年3月6日               | 都市計画決定の告示                           |





## ・国営公園整備プログラム

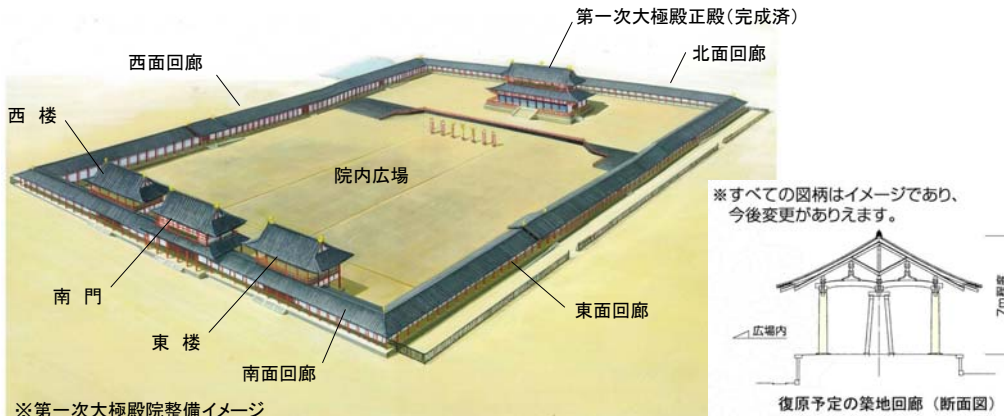




▶ 第一次大極殿院建造物復原工事に着手します

奈良時代前半の平城宮跡の中心施設であった第一次大極殿院について、往時の宮の規模や形状、さらには宮・都の壮大・壮麗・荘厳さを体感できるように、これまでの発掘調査や様々な研究を基に、実物大の建物等を復原整備します。

また、歴史・文化を楽しみながら学べる施設とするために、復原物を活用した取組みについて検討を進めます。



※第一次大極殿院整備イメージ

▶ 公園の利用拠点となる平城宮跡展示館を整備します

拠点ゾーンにおいて、平城宮跡展示館の平成28年度中の完成をめざし、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮しながら、設計・工事に取り組みます。

平城宮跡の案内や利用情報を提供するとともに、平城宮跡についての知識や理解を深めるガイダンスや出土品の展示等を行う平城宮跡展示館について、関係機関と展示内容等の調整を行いつつ、整備を進めます。



平城宮跡展示館整備イメージ(右側)

### ➤ シンボルゾーンにおける快適な利用のための整備を行います

復原建物や東西の山並み等の眺望景観と一体となった園路・広場・休憩所などの来訪者に配慮した便益施設を整備し、古代の宮都を体感できる空間を創出します。



便益施設整備イメージ



① 往時の雰囲気を感じられる空間整備

○平城宮跡の貴重な埋蔵文化財を保護し、市街地の中に残る自然的環境の保全に努めながら、周辺の風土と一体となって往時の雰囲気を感ぜられる空間整備を行うことで、来訪者の平城宮跡への理解や関心を高め、史跡としての価値を向上させます。



② 楽しく学べる展示施設

○楽しみながら学習できる展示や解説、古代工法の体験学習などを提供することで、より幅広い層に平城宮跡の魅力を伝え、奈良県の観光振興に寄与します。



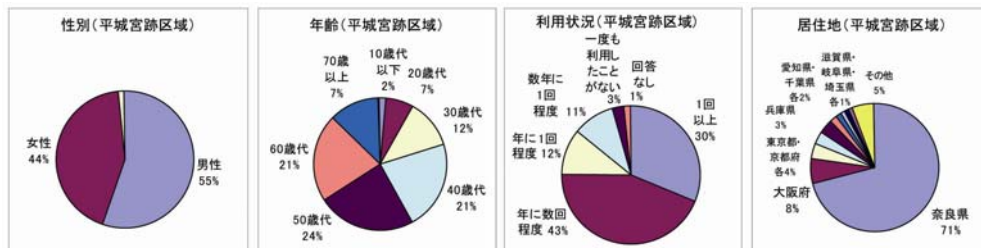
③ 安全・安心で快適に利用できるオープンスペース

○便益施設、広場等を整備するとともに、工事中の利用者の安全確保と利便性の担保に努め、長期に渡る整備期間においても安全・安心で快適に利用できるオープンスペースを提供します。

➤ 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園では、平成28年度までの整備及び管理の重点項目をとりまとめた国営公園整備プログラム(案)について、平成25年2月1日から2月28日まで意見募集(パブリックコメント)を行ったところ、374件(飛鳥区域25件、平城宮跡区域349件)のご意見が寄せられました。

■件数 平城宮跡区域 : (郵便69件、FAX20件、HP260件)

■回答者属性



いただいたご意見の概要

|                       |                                       |
|-----------------------|---------------------------------------|
| 1. 公園整備の基本方針及び公園計画の概要 | 1-1. 基本計画の策定について(20)                  |
|                       | 1-2. 事業計画の周知及び市民合意について(38)            |
|                       | 1-3. 古都奈良の景観について(37)                  |
|                       | 1-4. 世界遺産・特別史跡としての平城宮跡のあり方について(99)    |
|                       | 1-5. 鉄道・道路の移設について(20)                 |
| 2. 整備プログラム策定の視点       | 2-1. 遺構・遺物の保存について(58)                 |
|                       | 2-2. 自然的環境の保全について(96)                 |
| 3. 主な整備内容             | 3-1. 第一次大極殿院の建造物復原について(52)            |
|                       | 3-2. 平城宮跡展示館の整備について(20)               |
|                       | 3-3. 第一次朝堂院広場の整備について(60)              |
|                       | 3-4. トイレ・休憩所の整備について(8)                |
|                       | 3-5. 園路・案内板・解説板の整備について(4)             |
|                       | 3-6. 植栽について(8)                        |
|                       | 3-7. 調整池の整備について(18)                   |
| 4. 公園事業の効果            | 4-1. 楽しみながら学習できる展示や解説、IT技術の活用について(28) |
|                       | 4-2. 安全・安心で快適な空間づくりについて(33)           |
|                       | 4-3. 市街地における貴重な緑のオープンスペースの保全について(12)  |
| 5. その他                | 5-1. 関係機関等との連携について(13)                |
|                       | 5-2. イベントについて(8)                      |
|                       | 5-3. パブリックコメントについて(3)                 |
|                       | 5-4. 平城宮跡へのアクセス・駐車場について(18)           |
|                       | 5-5. 二条大路跡の整備について(3)                  |
|                       | 5-6. 予算の使途について(36)                    |
|                       | 5-7. 工事中の安全等について(1)                   |
|                       | 5-8. 公園及び公園事務所の名称について(3)              |

※1件あたり複数のご意見をいただいている場合があるため、( )内の意見の数と件数は合致しません。

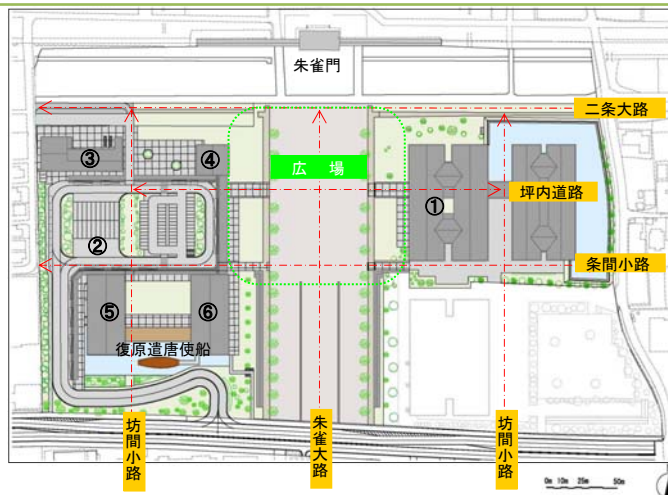
## ・平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画

### 平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画

➤ 平城宮跡の正面玄関としてふさわしい、

往時の平城京のスケールを感じさせる広がりのある空間づくりを目指します

- ① 往時の平城宮・平城京の姿を知り、“奈良時代を今に感じる”空間とします。
- ② 来訪者が平城宮跡に期待感や余韻を感じ、楽しみながら快適に過ごせる施設配置とします。



〈凡例〉

- ① 平城宮跡展示館
- ② 交通ターミナル
- ③ 休憩・宮跡展望施設
- ④ 団体集合施設
- ⑤ 観光案内・物販施設
- ⑥ 飲食・交流施設

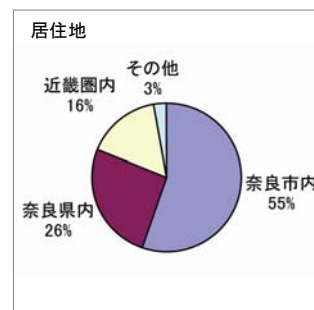
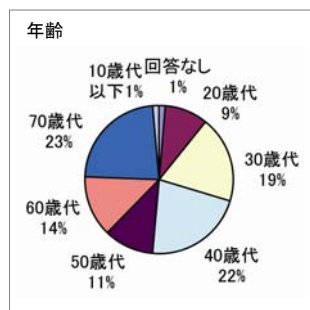
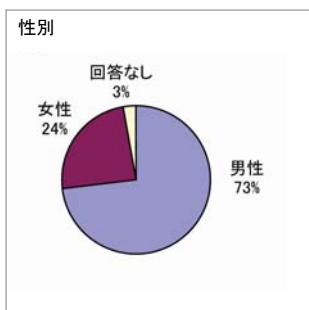
---> : 奈良時代の道路  
(条坊道路)の中心軸



➤ 「平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画(案)」について、平成25年7月19日から8月19日まで意見募集(パブリックコメント)を行ったところ、74通(167件)のご意見が寄せられました。

■件数 74通のご意見(郵便48件、FAX1件、メール25件)

■回答者属性





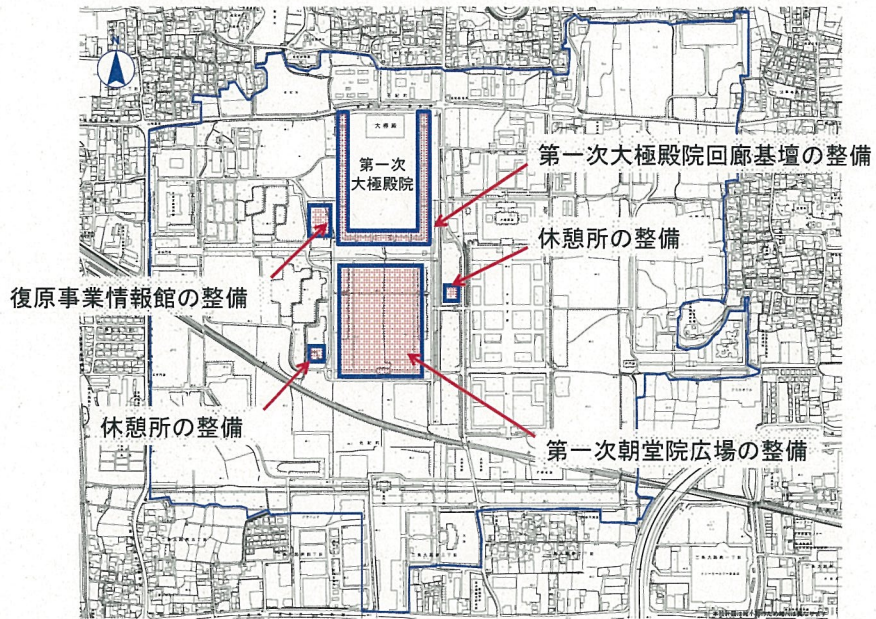
## ■ご意見の分類

| 対象エリア      | 分類           | 意見数 | 構成割合 |
|------------|--------------|-----|------|
| 拠点ゾーンについて  | 整備コンセプトについて  | 23  | 14%  |
|            | 施設の計画概要について  | 74  | 44%  |
|            | 景観形成の考え方について | 7   | 4%   |
|            | その他のご意見      | 22  | 13%  |
| 公園全体について   |              | 35  | 21%  |
| その他ゾーンについて |              | 6   | 4%   |
| < 計 >      |              | 167 |      |

27

## 2. 予定工事

28



## ・第一次大極殿院回廊基壇



## 第一次大極殿院回廊基壇の整備

▶ 第一次大極殿院については、これまでの発掘調査や様々な研究を基に、実物大の建物等を復原整備し、併せて復原物を活用した取組みを行うことを等を通じ、往時の平城宮を体感するとともに、歴史・文化を楽しみながら学ぶことができる施設とするために、学識経験者や文化庁や奈良文化財研究所等の関係機関の代表者で構成する委員会を設置し、検討を進めている。

### ■これまでの経緯

#### 第1回委員会(平成22年9月)

委員会の設置、国営公園事業の説明  
復原整備計画作成に当たっての作業方針等の確認  
第一次大極殿院の発掘調査状況の紹介

#### 第2回(12月)～第5回(平成23年7月)委員会

建造物の復原整備にあたっての基本方針となる復原整備計画策定  
設計に際して、復原整備計画を反映した内容とする

#### 第6回委員会(平成24年5月)

検討スケジュール、施工工程、築地回廊の整備と版築構造実験計画概要

#### 第7回委員会(12月)

復原構造物の構造検討、築地回廊の版築に関する構造実験についての報告、管理・活用に伴う施設整備

#### 第8回委員会(平成25年2月)

地盤に関する報告、築地回廊の版築に関する構造実験についての報告、平城宮跡第一次大極殿院の築地回廊基壇の復原整備案の審議

#### 第9回委員会(10月)

復原原案の提示、第一次大極殿院建造物復原整備案の審議

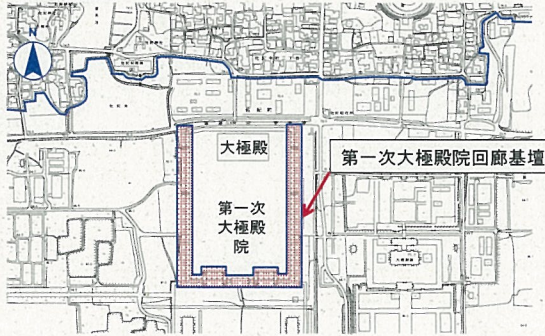


委員会の様子(第7回)

## 第一次大極殿院回廊基壇の整備

○ 第一次大極殿院の復原として、回廊基壇の整備に着手する。

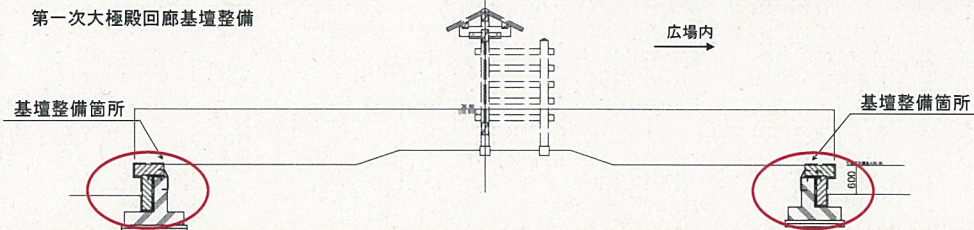
### 整備位置図



### 現況(修景柵)



### 第一次大極殿回廊基壇整備





基壇参考



## ・第一次朝堂院広場

## シンボルゾーンの整備

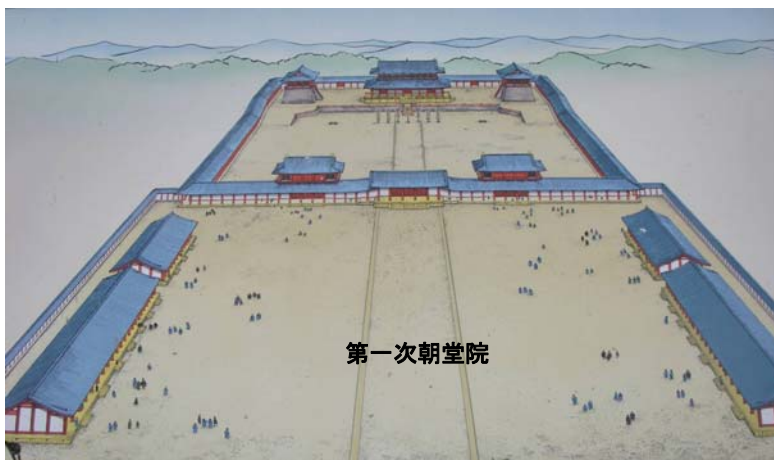
- 発掘調査・研究の進んでいる特別史跡区域の中枢部に設定。
- 朱雀門や第一次大極殿院などの復原建物等を中心に、歴史資産を活かした空間づくりを行い、併せて往時を彷彿とさせるイベント、歴史学習プログラム等を実施し、往時の平城宮の姿や様子を感じられるようにする。



35

## 第一次朝堂院広場の整備

- 第一次朝堂院は、奈良時代は天皇が出御し、儀式や饗宴などが行われていた広場。
- 現在は文化庁が朝堂(当時の役所建物)の基壇(建物の土台)を東西に遺構表示。



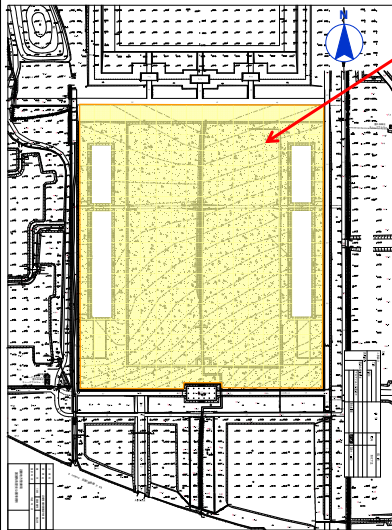
遺構解説サイン  
(奈良文化財研究所)

36



## 第一次朝堂院広場の整備

- 朱雀門から第一次大極殿院に至る宮の中心軸と往時の空間の広がりをめざし、第一次朝堂院において広場の整備を実施。



第一次朝堂院広場整備



現状

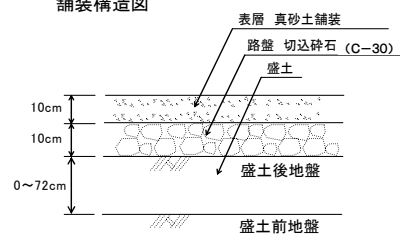
## 第一次朝堂院広場の整備

- 本工事により、第一次大極殿を真正面に見据えて往時の朝堂院の広がりが体感でき、またアプローチもできるようになる。
- 第一次朝堂院の基壇を間近で体感することが可能となる。
- 往時の平城宮の様子が感じられる空間として、遺構の確実な保存を最優先に、広場を整備。
- 現状の遺構表示(朝堂院の基壇等)を活用する。
- 盛土の表面は土系舗装を行う。



整備イメージ

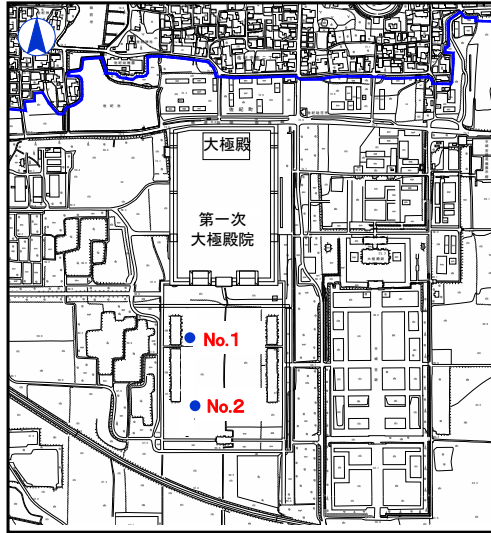
舗装構造図



## 地下水位のモニタリング

▶ 第一次朝堂院広場整備にあたり、2地点で地下水位のモニタリングを実施。

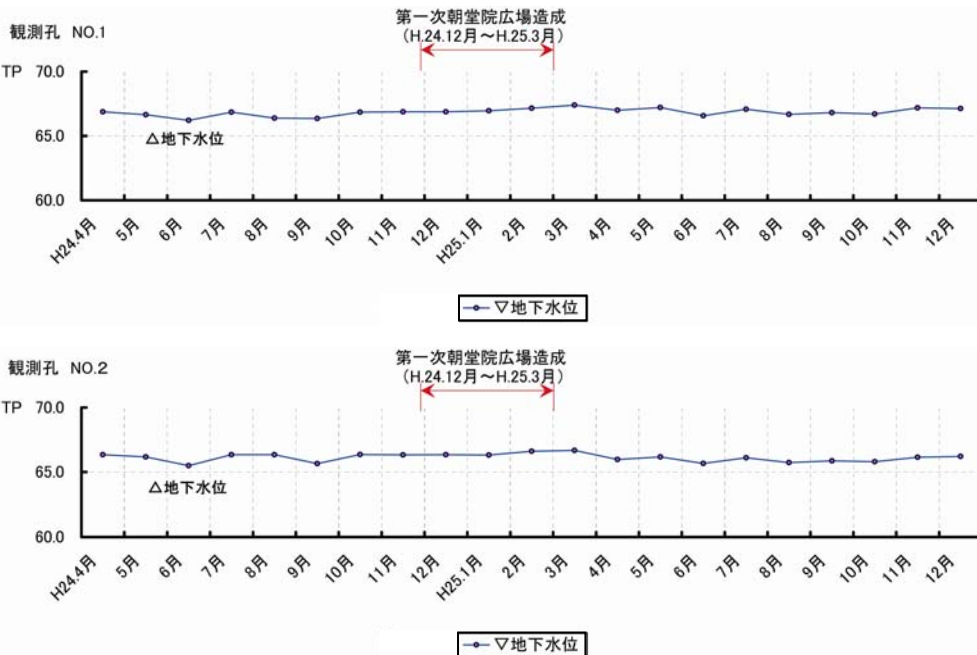
位置図



| 観測孔        | No.1      | No.2      |
|------------|-----------|-----------|
| 観測年月日      | 地下水位      | 地下水位      |
| 平成24年4月2日  | TP+66.88m | TP+66.34m |
| 平成24年5月1日  | TP+66.65m | TP+66.17m |
| 平成24年6月1日  | TP+66.21m | TP+65.49m |
| 平成24年7月2日  | TP+66.85m | TP+66.34m |
| 平成24年8月1日  | TP+66.38m | TP+66.34m |
| 平成24年9月3日  | TP+66.36m | TP+65.65m |
| 平成24年10月1日 | TP+66.85m | TP+66.35m |
| 平成24年11月1日 | TP+66.87m | TP+66.33m |
| 平成24年12月3日 | TP+66.88m | TP+66.34m |
| 平成25年1月4日  | TP+66.96m | TP+66.32m |
| 平成25年2月1日  | TP+67.16m | TP+66.61m |
| 平成25年3月1日  | TP+67.40m | TP+66.67m |
| 平成25年4月1日  | TP+67.00m | TP+65.97m |
| 平成25年5月1日  | TP+67.21m | TP+66.17m |
| 平成25年6月3日  | TP+66.57m | TP+65.66m |
| 平成25年7月1日  | TP+67.07m | TP+66.11m |
| 平成25年8月1日  | TP+66.67m | TP+65.73m |
| 平成25年9月2日  | TP+66.81m | TP+65.87m |
| 平成25年10月1日 | TP+66.70m | TP+65.80m |
| 平成25年11月1日 | TP+67.18m | TP+66.14m |
| 平成25年12月2日 | TP+67.13m | TP+66.21m |

39

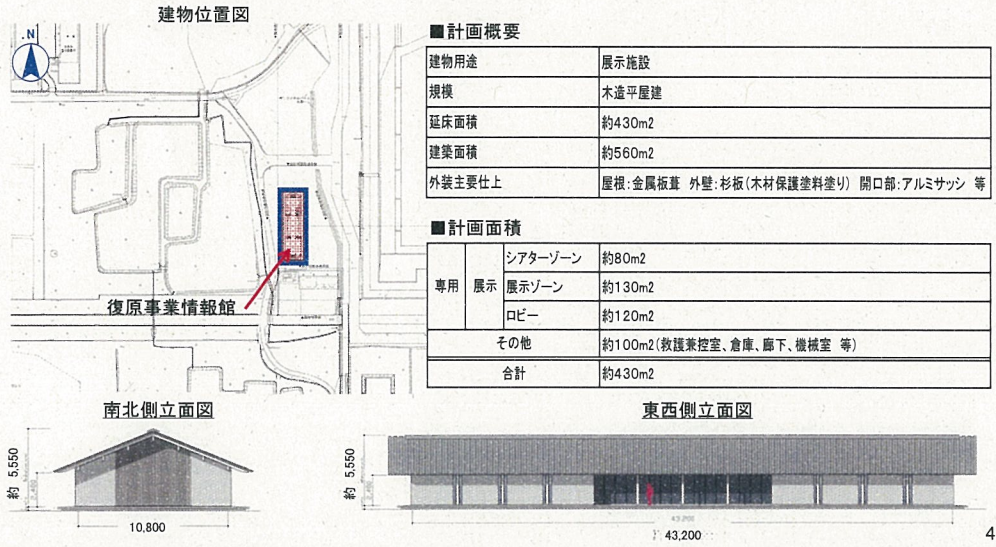
## 地下水位のモニタリング



40



○ 第一次大極殿院復原事業の意義・目的及び長期間にわたる復原工事の過程や使われる技術等を分かりやすく説明し、あわせて夏の暑さ対策や休憩、急な降雨等の際の一時避難に活用。



■ 復原事業情報館イメージ

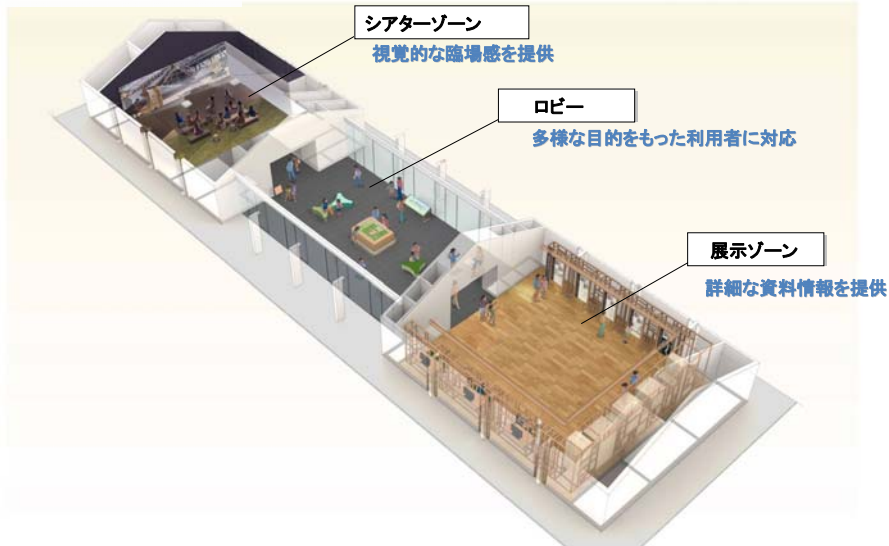




## 復原事業情報館の整備

○ 古代の工法や技術、材料について体験的に学習する事により事業への理解を深めてもらう。

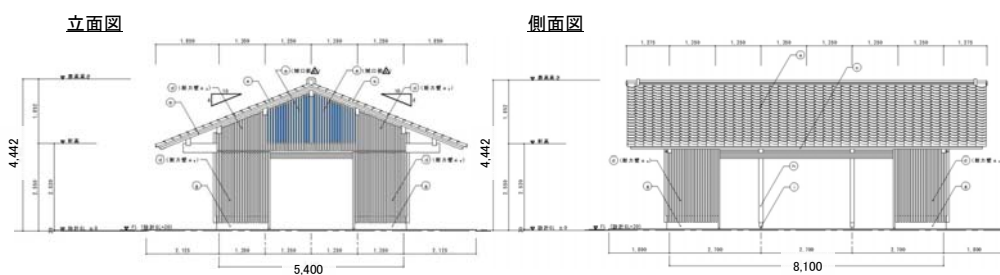
### ■ 復原事業情報館展示イメージ



43

## 休憩所の整備

○ 様々な来園者への利用サービス機能として休憩所を整備。



### ■ 休憩所イメージ



### ■ 計画概要(休憩所1, 2)

| 建 物 用 途   | 休憩所      |
|-----------|----------|
| 構 造 ・ 規 模 | 木造平屋建て瓦葺 |
| 建 築 面 積   | 61.41㎡   |
| 床 面 積     | 43.74㎡   |
| 棟 数       | 2棟       |
| 延 べ 面 積   | 87.48㎡   |

44